

第3次 魚沼市男女共同参画推進計画
(平成28年度～令和2年度)の総括について

令和3年11月

魚沼市

○総括の方法について

第3次魚沼市男女共同参画推進計画における成果や今後の課題について、計画に登載された基本目標及び重点目標ごとに、計画の成果指標の達成状況や第3次魚沼市男女共同参画推進計画実施事業進捗管理表、人権推進・男女共同参画に関する市民意識調査等を基にまとめました。

基本目標Ⅰ 男女平等を推進する意識づくり

男女の性別にかかわらず、一人ひとりが尊重され、その個性と能力を十分に発揮しながら対等な立場であらゆる分野へ共に参画し、充実した生活を送ることができる社会の実現を目指して、家庭、地域、働く場、学びの場などあらゆる場において、性別による固定的な役割分担意識を見直せるように男女共同参画の意識づくりを進めてきました。

「家庭における男女平等の意識づくり」では、地区公民館講座教室やパパママ準備教室を行うことにより、家事や育児に関する知識を普及することができ、男性参加率も維持することができました。

「地域における慣習を改善する意識づくり」では、コミュニティ協議会の活動支援を行い、子ども会やPTAとの連携等により、女性が参加しやすい環境づくりを進め、少しずつではありますが、女性の参加者を増やすことができました。

「働く場における男女平等の意識づくり」では、事業所の採用担当者を対象にセミナーを実施して、男女平等の意識が高い企業では求職者が集まることを理解いただき、事業所内での男女平等意識の啓発につなげることができました。

「学びの場における男女平等の意識づくり」では、学校教育において、あらゆる教育活動で男女平等の意識づくりに取り組み、職場体験学習では、性別にとらわれず、自分の生き方について考え、多様な職業体験をすることで平等意識の醸成を図ることができました。

「女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた意識づくり」では、市報、DV予防啓発冊子等により情報提供を行い、相談者や被害者が一人で悩まない相談業務に努めました。

このような取組により、性別による役割分担という固定観念にとらわれた考え方が見直されつつありますが、成果指標の現状をみると、項目によっては目標値に到達していないものもあるので、引き続き男女平等を推進する意識づくりに取り組む必要があります。

基本目標Ⅱ 男女がともに活躍できる環境づくり

性の違いによってその役割を決めつけてしまう「男は仕事、女は家庭」のような考え方は、女性の社会進出や経済的自立を阻むとともに、男性が仕事中心の生活となり、家庭における家事・育児から男性を遠ざけてしまう要因となっていることから、男女がともに活躍できる環境づくりを進めてきました。

「女性が参画しやすい環境づくり」では、市の各種審議会等への女性委員の登用を進めましたが、登用率は大きくは改善しませんでした。

「仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり」では、女性の雇用分野の拡大と活躍しやすい環境づくりを促進するため、事業主に対する啓発活動を行うことにより、育児休業制度の利用促進や、出産後の職場復帰しやすい環境づくりを進めることができました。

「男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり」では、コミュニティ協議会への支援を行い、女性の参画を進めたことにより、地域の課題に対してより広い視野で議論できるようになりました。

このように、女性が働き続ける事ができる環境は整いつつありますが、会議等の意思決定の場における女性の登用割合は目標値に達していない状況です。幅広い意見の反映を可能なものにするためにも、性別にとらわれない男女がともに活躍できる環境づくりを促進する必要があります。

基本目標Ⅲ 男女がともに健やかに暮らせる環境づくり

人口減少、少子高齢化が急速に進む中、地域を活性化させたり、誰もがあらゆる分野に共に参画し、多様な生き方が選択できたり、また、男女とも年齢に関わらず、生涯健康で安心した暮らし、生涯にわたる健康保持のため、男女がともに健やかに暮らせる環境づくりを進めてきました。

「生涯にわたる男女の健康保持のための環境づくり」では、高齢者を対象に運動教室を開催し、転倒骨折の防止や運動機能低下の防止など介護予防に取り組みました。

「子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり」では、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、国の政策に先駆けて、平成29年度から保育料の第2子以降無償化を実施するとともに、子ども医療費助成は対象年齢を18歳まで拡充し、令和3年1月1日からは自己負担金を全額無償化しました。

「生涯支え合う環境づくり」では、介護の負担が女性だけに集中することがないように、認知症の人と家族のためのつどいを開催し、男性の参加を呼びかけ、知識の普及とともに男女が協力して家族の介護ができる環境づくりを進めました。

「女性の人権を守る環境づくり」では、DV被害者対応マニュアルを作成し、対応方法を明確化するとともに、各種関係機関と連携して、被害者の支援方法について協議し、被害者の意思に添った支援を行いました。

このような取組により、子育てや介護においても、女性に負担が偏ることのないよう進めていますが、少子高齢化が進む現状においては、より一層男女が協力し健やかに暮らせる環境づくりを進める必要があります。

成果指標

基本目標Ⅰ 男女平等を推進する意識づくり

重点目標 1 家庭における男女平等の意識づくり

施策の方針 1 家庭における男女平等についての理解を深めるための広報・啓発活動の推進

項目	単位	H27	現状 (R元)	目標 (R2)	備考
「男女共同参画社会」という言葉を内容まで知っている人の割合	%	5.5	6.9	30.0	令和元年度「人権推進・男女共同参画に関する市民意識調査」

重点目標 2 地域における慣習を改善する意識づくり

施策の方針 1 地域における男女平等の意識づくりをすすめるための広報・啓発活動の推進

項目	単位	H27	現状 (R元)	目標 (R2)	備考
「地域社会」における男女の地位の平等で、「平等である」と考える人の割合	%	22.0	29.5	40.0	令和元年度「人権推進・男女共同参画に関する市民意識調査」

重点目標 3 働く場における男女平等の意識づくり

施策の方針 1 働く場における男女平等の広報・啓発活動の推進

項目	単位	H27	現状 (R元)	目標 (R2)	備考
「職場」における男女の地位の平等で、「平等である」と考える人の割合	%	17.4	35.7	30.0	令和元年度「人権推進・男女共同参画に関する市民意識調査」

重点目標 4 学びの場における男女平等の意識づくり

施策の方針 1 学校教育の場における男女平等の意識づくりをすすめるための教育の充実

項目	単位	H27	現状 (R元)	目標 (R2)	備考
「学校教育」における男女の地位の平等で、「平等である」と考える人の割合	%	57.7	53.9	70.0	令和元年度「人権推進・男女共同参画に関する市民意識調査」

施策の方針2 生涯学習の場における男女平等の意識づくり

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
家事、育児等に関する各種講習会の受講者数	人	406	69	450	実施事業進捗管理表

・現状（R2）の数値は、新型コロナウイルスの影響で、講習会の中止や参加者が減少したことによるものです。

重点目標5 女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた意識づくり

施策の方針1 女性に対する暴力の根絶に向けた広報・啓発活動の推進

項目	単位	H27	現状 (R元)	目標 (R2)	備考
ドメスティック・バイオレンスについて内容まで知っている人の割合	%	40.9	36.8	60.0	令和元年度「人権推進・男女共同参画に関する市民意識調査

基本目標II 男女がともに活躍できる環境づくり

重点目標1 女性が参画しやすい環境づくり

施策の方針1 市の政策・方針決定過程への女性の参画促進

項目	単位	H27	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
市の審議会等への女性の登用率	%	20.5	23.3	30.0	男女平等推進施策推進状況調査

施策の方針2 企業、団体、地域等あらゆる場における方針決定過程への女性の参画促進

項目	単位	H27	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
ものづくり振興協議会から抽出した企業15社の係長以上の職についている女性の割合	%	8.3 (女性総数205人中係長以上の職の人数17人)	4.4 (女性総数632人中係長以上の職の人数28人)	13.0	ものづくり振興協議会に登録している企業の女性従業員に占める係長以上の職についている人の割合
まちづくり委員会の女性委員の割合	%	26.8 (委員総数71人中女性委員数19人)	33.3 (委員総数33人中女性委員数11人)	36.0	実施事業進捗管理表

施策の方針3 女性の能力向上やチャレンジの支援

項目	単位	H27	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
スキルアップに関する講座の女性受講者数	人	15	0	20	合同新人研修会・創業セミナー出席者

・現状 (R2) の数値は、新型コロナウイルスの影響で、合同新人研修会・創業セミナーが中止になったことによるものです。

重点目標2 仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり

施策の方針1 仕事と生活の調和のとれた就業環境づくり

項目	単位	H27	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
ハッピー・パートナー企業※(男女共同参画推進企業)登録数	社	8	12	13	実施事業進捗管理表

※ ハッピー・パートナー企業

仕事と生活の両立ができるよう職場環境を整える、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む企業等を登録する新潟県の制度。

施策の方針2 仕事と子育てや介護との両立のための制度の普及と利用の促進

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
育児休業給付受給者実人数	人	455	634	500	ハローワーク小出業務概要
介護休業給付受給者数	人	6	3	10	ハローワーク小出業務概要

施策の方針3 男性の立場からの男女共同参画の促進

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
家事、育児等に関する各種講習会の受講者数(再掲)	人	406	69	450	実施事業進捗管理表

・現状 (R2) の数値は、新型コロナウイルスの影響で、講習会の中止や参加者が減少したことによるものです。

重点目標3 男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり

施策の方針1 農林業・商工業等自営業における女性の参画促進

項目	単位	H27	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
農村地域生活アドバイザー数※	人	43	43	43	担当課調べ
女性の新規創業者数（補助事業実施数）	人	(H26) 1	1	1	実施事業進捗管理表
家族経営協定締結農家数	人	65	72	75	実施事業進捗管理表

※ 農村地域生活アドバイザー

農村女性の経営・社会参画の促進や農村女性活動の推進、及び農村地域の活性化を図ることを目的として、自ら農業経営に取り組むとともに、農村女性の経営参画、社会参画、担い手の育成等の促進に意欲を持って貢献できる農業者を「農村地域生活アドバイザー」として認定し、農村女性の経営・社会参画の促進や農村女性活動を推進する新潟県の制度。

施策の方針2 地域や防災、環境などにおける男女共同参画促進

項目	単位	H27	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
まちづくり委員会の女性委員の割合（再掲）	%	26.8 (委員総数71人 中女性委員数19人)	33.3 (委員総数33人 中女性委員数11人)	36.0	実施事業進捗管理表

施策の方針3 高齢者・障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
障害者支援施設による地域交流事業の実施	回	4	0	4	実施事業進捗管理表
シルバー人材センター会員数	人	510	489	550	魚沼市高齢者福祉計画

・現状（R2）の数値は、新型コロナウイルスの影響で、障害者支援施設による地域交流事業の未実施や、シルバー人材センターの活動の制約などで会員数が減少したことによるものです。

基本目標Ⅲ 男女がともに健やかに暮らせる環境づくり

重点目標 1 生涯にわたる男女の健康保持のための環境づくり

施策の方針 1 女性の生涯を通じた健康の維持・増進のための施策の推進

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
乳がん検診受診率	%	53.6	50.7	55	第2次魚沼市健康づくり計画
子宮がん検診受診率	%	50.4	40.3	55	第2次魚沼市健康づくり計画

・現状 (R2) の数値は、新型コロナウイルスの影響で、受診控えがあったことによるものです。

施策の推進 2 性と生殖に関する健康と権利についての知識の普及

項目	単位	H27	現状 (R元)	目標 (R2)	備考
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ※ について「内容まで知っている」人の割合	%	1.4	1.3	10.0	令和元年度「人権推進・男女共同参画に関する市民意識調査

※リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

生涯にわたって自分の健康を主体的に確保することを目指すという概念。1994年にエジプトのカイロで開かれた国連の国際人口開発会議において提唱された。これは、人間が安全で満ち足りた性生活を営み、かつ妊娠・出産に関する自由を享受し、自分の性と生殖について身体的・精神的・社会的に満足できる状態であることを表す「リプロダクティブ・ヘルス」とそれを守る権利である「リプロダクティブ・ライツ」を合わせた概念。

施策の方針 3 高齢者等が安心して暮らせる環境づくり

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
高齢者筋力向上トレーニング事業の延べ参加者数	人	15,525	15,279	17,500	魚沼市高齢者福祉計画

・現状 (R2) の数値は、新型コロナウイルスの影響で、実施回数の減少や参加者が減少したことによるものです。

重点目標 2 子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり

施策の方針 1 妊娠・出産における経済的負担の軽減と支援体制の充実

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
妊産婦・新生児（第1子）訪問率	%	95.1	98.7	100	担当課調べ

施策の方針2 公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
保育園延べ入所児童数	人	12,479	12,200	13,000	毎月の福祉行政報告例の児童数の累積

施策の方針3 地域における子育て環境の整備・充実

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
保育園・幼稚園開放事業実施回数	回	75	52	85	担当課調べ

・現状（R2）の数値は、新型コロナウイルスの影響で、実施回数が増減したことによるものです。

施策の方針4 ひとり親家庭への支援体制の充実

項目	単位	H27	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
保護者の学びなおしの支援利用者数 （自立支援教育訓練給付金事業及び 高等職業訓練促進給付金等事業の該 当者数）	人	1	2	3	実施事業進捗管理表

重点目標3 生涯支え合う環境づくり

施策の方針1 高齢者が安心して暮らせる介護体制の整備

項目	単位	H26	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
家族介護支援事業（家族介護者交流） の延べ参加者数	人	140	0	230	第7期介護保険事業計画

・家族介護者交流は令和2年度に終了しており、実施なしのため、現状（R2）の値は「0」としました。

重点目標4 女性の人権を守る環境づくり

施策の方針1 暴力等による被害者の相談支援体制の充実

項目	単位	H27	現状 (R2)	目標 (R2)	備考
女性相談専門員の設置	人	0	0	1	実施事業進捗管理表